

令和7年度 九州学生ラグビーリーグ 開催規約および実施要項

1.名称

本リーグ戦を九州学生ラグビーリーグ（A,B,C,D, ジュニア）と称する。

名称は、「九州学生ラグビーリーグ A」「九州学生ラグビーリーグ B」「九州学生ラグビーリーグ C」「九州学生ラグビーリーグ D」「九州学生ラグビーリーグ・ジュニア」とする

2.主旨

九州地区大学ラグビーの競技力向上を図るため、試合の機会をより多く与え、大学チーム間の親睦とラグビーの発展、強化、普及に寄与する。

3.主催及び主管

本リーグ戦は九州ラグビーフットボール協会（以下、九州協会）が主催する。

本リーグ戦の競技は、各県協会が主管する。

4.運営

本リーグ各部（A,B,C,D, ジュニア）の運営は、大学委員会とする。運営補助は各チームの代表者（学生、指導者）が行う。

5.表彰

リーグAの1位（優勝）とリーグA2位（準優勝）、ジュニアの優勝を表彰する。

6.加盟

本リーグ戦への加盟は九州協会に登録している大学チームとし、各リーグに所属する。

本年度の加盟チームは、次の通りとする。

リーグ	チーム
リーグA	福岡工業大学・九州共立大学・日本文理大学・福岡大学・西南学院大学・鹿児島大学
リーグB	九州大学・熊本大学・大分大学・沖縄国際大学・宮崎大学・立命館アジア太平洋大学
リーグC	志學館大学・九州産業大学・九州工業大学・名桜大学・佐賀大学・長崎大学
リーグD	久留米大学医学部・九州大学医学部・久留米大学・琉球大学・九州歯科大学・北九州市立大学・九州大学歯学部・福岡大学医学部
リーグ ジュニア	福岡工業大学・九州共立大学・福岡大学・日本文理大学

（令和7年7月31日現在）

7.リーグ加盟チームの義務

- (1) 順位決定戦の1位チームに全国大学ラグビー選手権への出場資格を与え、その義務を負うものとする。
- (2) 順位決定戦の5位チームに全国地区対抗大学大会への出場資格を与え、その義務を負うも

のとする。

(3) 順位決定戦などの最終結果が次年度の参加リーグとなる

リーグ A : 1 位～6 位・リーグ B : 7 位～12 位・リーグ C : 13 位～18 位・リーグ D : 19 位～

8. 参加資格

(1) 参加チームは、九州協会に加盟・登録している大学チームとする。

(2) 参加選手は大学に在籍する正規の学生及び大学院生であり、且つ九州協会に個人登録している者であること。但し、8月末までに登録されたものに限る。

研究生、科目等履修生、聴講生、研修生などは正規の学生に含まない。

(3) 外国籍の選手は当該年度 4 月までに正規学生として入学し、その後継続的に日本に居住し、部員として練習その他の活動を共にしていること。なお、競技区域内にいるプレーヤーの、外国籍選手は 3 名までとする。但しリザーブ選手に人数制限は設けない。外国人選手の 9 月入学者(正規学生)は 10 月末までの登録とする。

(4) 試合出場交代選手は登録選手の中から該当試合前に提出した 23 名の選手内であること。

(5) 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会選手・役員規定に反するものは参加を認めない。

(6) A、B リーグはリーグ戦参加料を 50,000 円とする。C,D リーグはリーグ戦参加料を 30,000 円とする。毎年 9 月末までに九州協会に振り込むこと。

(7) その他、参加資格に疑義がある場合は、九州協会において裁定する。

【口座情報】

口座銀行：西日本シティ銀行 支店名：天神支店

口座種別：普通口座 口座番号：0835987

口座名義：公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会 九州協会 久木元孝行

フリガナ：ザイ)ニホンラグビーフットボールキヨウカイ

キユウシユウキヨウカイ クキモトタカユキ

9. 参加申込

出場チームは別紙『【●●大学】九州学生ラグビーリーグ参加申込書』に必要事項を記入し
九州ラグビーフットボール協会事務局へメールにて提出すること

提出締切 令和 7 年 8 月 23 日(土)

申込書提出先

九州ラグビーフットボール協会 担当：坂本

yuuji.sakamoto@rugby-japan.or.jp

10. 競技規則

(1) 2025 年度公益財団法人日本ラグビーフットボール協会制定の競技規則による。

(2) リーグ A と B の試合時間は 40 分ハーフとする。リーグ C の試合時間は 35 分ハーフ、リーグ D は 30 分ハーフとするとし、1 位～8 位の順位決定戦は 40 分ハーフ、11 位決定戦以下は 35 分ハーフとする

(3) リーグ戦での対戦チームどうしの勝敗の決定方法

- 1)同点の場合は引き分けとする。
- 2)やむをえず棄権する場合は理由書を添えて大学委員長に提出し運営委員会で審議する。
棄権したチームは不戦敗とする。相手チームは不戦勝とする。
- 3)運営委員会に連絡せずに15名揃わざ試合を行った場合は、勝敗に関係なく相手チームの不戦勝とする。

①リーグ戦での順位決定方法

- i) 勝ち点とボーナス点により獲得点数の多いチームが上位する。
 - a . 勝ち点：4点、引き分け：2点、負け：0点
※不戦勝の場合は4点、不戦敗は-1点とする
※得失点差は21-0とする（得失点差の確認が必要な場合）
 - b . ボーナス点：
 - 1) 贠けても7点差以内ならば、勝ち点1を追加。
 - 2) 勝敗に関係なく、4トライ以上のトライを獲得したチームに、
勝ち点1を追加
 - c . 両チーム不可抗力で試合中止の場合
 - 1) 原則再試合とする。
 - 2) 再試合ができない場合は両チームと大学委員会で協議する。
- ii) 勝ち点とボーナス点による獲得点数が同点の場合は、以下の順で順位決定する。

<2チーム同率の場合>

 - a . 直接対決で勝利を収めているチームを上位とする。
 - b . 当該チーム間の試合でトライ数の多いチームを上位とする。
 - c . トライ数も同じ場合は、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。
 - d . リーグ戦全試合の総得失点差の多いチームを上位とする。
 - e . リーグ戦全試合の合計トライ数の多いチームを上位とする。
 - f . 上記で決定できないときは、抽選とする。

<3チーム以上同率の場合>

当該チーム（3チーム以上）との対戦試合で

 - a . トライ数の多いチームを上位とする。
 - b . トライ数も同じ場合は、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。
 - c . リーグ戦全試合で総得失点差の多いチームを上位とする。
 - d . リーグ戦全試合の合計トライ数が多いチームを上位とする。
 - e . 上記で決定できないときは、抽選とする。

②順位決定方法

- 1位～4位：リーグAの1位～4位のチームで1位～4位決定トーナメントを行う。
- 5位～8位：リーグAの5位・6位、リーグBの1・2位チームで5位～8位決定トーナメンを行いう。
- 9位～11位：リーグBの3位・4位・5位をそれぞれ9位・10位・11位とする。
- 12位～13位：リーグBの6位、リーグCの1位チームは順位決定戦1試合を実施する。
- 14位～17位：リーグCの2位・3位・4位・5位をそれぞれ14位・15位・16位・17位とする。

18位～19位：リーグCの6位、リーグDの1位チームは順位決定戦を1試合実施。

20位～以下：リーグDの2位以下を順次20位～とする。

i) 順位決定戦および入れ替え戦での勝ち進みと順位決定方法

順位決定戦で引き分けの場合は、以下の方法で勝利チームを決定する

- a .トライ数の多いチームを勝利チームとする。
- b .トライ数も同じ場合はトライ後のゴール数の多いチームを勝利チームとする。
- c .aとbの両方が同じ場合は、リーグ戦での上位チームを勝利チームとする。

ii) Dリーグのトーナメント戦の順位決定は引き分けの場合

以下の順序で勝利チームを決定する

- a .トライ数の多いチームを勝利チームとする。
- b .トライ数が同数の場合はトライ後のゴール数の多いチームを勝利チームとする。
- c .上記で決定できない時は抽選で決める。

11. 競技方法

(1)競技の執行

各リーグの競技の執行は、大学委員会のもと各チームの代表者（指導者やOBを含む）を中心に学生が行う。

(2)競技の棄権、中止及び延期

①当該チームに何らかの支障が生じ、棄権または日程変更を余儀なくされる場合、チーム責任者は、少なくとも1週間前までに、各地区県協会大学委員長、各地区県協会、ならびに九州協会大学委員長へ、チーム代表者である部長（教員・職員）が署名・捺印した書面をもって、その理由を報告しなければならない。

②九州協会大学委員会は上記の連絡及び理由書を受託後、速やかに、競技の中止及び延期を決定し、各地区県協会大学委員長、各地区県協会、九州協会に報告する。

③各チームの代表者、大学委員会は台風等の天候悪化、自然災害により競技の実施が困難な場合は、大学委員会委員長に諮り、競技の中止及び延期を決定し、各地区県協会大学委員長、各地区県協会、九州協会に報告する。

④決定後、当該チームよりレフリー、アシスタントレフリー並びに競技関係者へ直ちに決定を連絡する。※九州協会からの連絡もお願いする

(3)試合開始70分前にプレマッチミーティングを行う。

①参加者はマッチコミッショナー、レフリー、アシスタントレフリー、両チームの主務、セーフティアシスタントとする。（当番チームからの第3アシスタントレフリーを含む）

②マッチコミッショナーが進行し、試合開催にあたっての確認を行う。

③マッチコミッショナーはプレマッチミーティング迄に、両チームのメンバー表の提出及びレフリー、アシスタントレフリー、ドクターの名前を確認の上、両チームへ報告する。

(4)レフリー及びアシスタントレフリー

レフリー及びアシスタントレフリーは九州協会及び各県レフリー委員会で指名された者とする。

①各リーグのレフリー及びアシスタントレフリーの依頼は、九州協会レフリー委員会が行

う。

- ②アシスタントレフリーの派遣者がいない場合は、公平で厳正なジャッジができる第三者が行い、止むを得ない場合のみ両チーム合意の上で経験豊かな当該チーム関係者が行う。
- ③第3アシスタントレフリー派遣者がいない場合は、マッチコミッショナーと各チームの代表者（学生、指導者）が協議し、公平で厳正なジャッジができる第三者を任命するか、やむを得ない場合のみ両チーム合意の上で当番チームが行う。
- ④第3アシスタントレフリーは、試合開始の70分前までに、両チームのメンバー表の受け取りレフリー、アシスタントレフリー、ドクターの確認を行うこと。

(5)セーフティアシスタント

- ①セーフティアシスタントは各チームより有資格者を1名出し、必ずリーグ指定のビブスを付ける。
- ②試合中、セーフティアシスタントはテクニカルゾーンで待機する。

(6)ボール及びボールボーイ

- ①試合ボールは協会から配給されたボールを用い、3ボール制とする。協会からの配給がない場合は各チームから供出する。
- ②ボールボーイは、当該チームより2名ずつの4名とする。

(7)ドクター及び救急対策

- ①マッチドクターは九州協会及び各県協会で指定された者とする。
- ②試合中の負傷についてレフリーの要求が合った場合は、担当のマッチドクターが処置をし、チームドクターはグラウンドに入らない。
- ③マッチドクターが派遣されていない場合は、当該チームのチームドクターに依頼する。
- ④ドクターがいない場合はマッチオフィシャルの判断に委ねる。
- ⑤ドクターがいない場合は、当番校は当日の救急病院を把握しておき、迅速に対処する。

(8)ウォーターボーイ

- ①試合中の水分補給のため各チーム3名までウォーターボーイを準備できる。
- ②試合中の水分補給は、ボールデッド時に限り、グラウンド内に入れる。
- ③ウォーターボーイは必ずリーグ指定のビブスを付けてテクニカルゾーンで待機する。

(9)記録

公式記録は当番校が本部席で行う。試合終了後、スコア及び試合経過の確認をマッチコミッショナーと行い、マッチコミッショナーとマッチオフィシャルとドクターのサインをもらい終了後直ちに、九州協会事務局のメーリングリストへ送付する。

(10)有料試合について

リーグの試合は一部有料試合を行うこともある。運営は九州協会、大学委員会、各リーグ参加の学生が行う。

12.競技上の留意事項

(1)メンバー表提出

- ①各チームは試合開始70分前に、所定の用紙に記載した試合メンバー表をマッチコミッショナー或はゲームを管轄する当番チームの責任者に提出しなければならない。

②学生実行委員或はゲームを管轄する当番チームの責任者は、試合メンバーについて別途協会に提出されているチーム別個人登録名簿に名前が記載されているか確認し、両チームの試合メンバー表のコピーを第3アシスタントレフリー及び協会派遣者に提出する。

(2)グランド入場

試合チームのグランド入場はキックオフ時刻10分前以内とする。

(3)セカンドジャージ

両チームのジャージが似ている場合はマッチコミッショナー及びレフリーの指示によりセカンドジャージを着用する。※試合前日までに当該チーム同士で確認し、当番校からレフリーに伝える

(4)キックティ

キックティを使用する場合はチームで準備し、ゲーム中はチームのセーフティアシスタントが管理する。

(5)ドレスチェック

①レフリーのドレスチェック（服装点検）があるが、事前にスタッドの交換、ねじ締め、爪切りをすませておく。キャプテンはレフリーにドレスチェックの時間・場所を確認しておく。

②プレーヤーの服装は、競技規則第4条「プレーヤーの服装」を厳守すること。

③試合中ストッキングがずり落ちないよう、プレーヤーに十分注意させる。

④ジャージ、パンツがひどく汚れた場合はレフリーの指示によって取り換える。セカンドジャージ・パンツを準備する。

⑤パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れること。また、ジャージの襟を内側に折り入れない。

(6)選手の入れ替え、交替

①選手の入れ替え、交替は第3アシスタントレフリーが管理し、必ず第3アシスタントレフリーを通して行わねばならない。

②選手の入れ替え、交替は、レフリーの許可のもとに出入りする。

③リザーブ選手の上限は8名とし、指名する人数とフロントローとして適切に訓練され、かつ経験のあるプレーヤーの人数は競技規則第3条5項に示される下記の通りである。

指名人数	フロントローの人数
15名以下	3名
16名から18名	4名
19名から22名	5名
競技規則3.14により22または23名	6名

④選手の入れ替え、交替人数の総数上限は8名とする。

⑤選手の負傷交替は医師の診断を受けてからとする。

※マッチドクターがない場合は、各チームのセーフティアシスタントが確認しマッチオフィシャルの指示に従い交替する

(7)ノンコンテストスクラム

1 ノンコンテストスクラムは、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会制定の競技規則を採用する。

(8)ハーフタイム

①ハーフタイムの休憩時間を 12 分以内とし、事前に、レフリー、両チームキャプテン及び協会派遣者を交えて時間の協議を行い、決定する。

②ハーフタイムの時間が 5 分を超える決定をした場合、その間チームはフィールドオブプレーを離れることができる。

③ハーフタイム時に、フィールドオブプレーに入ることができるのは 8 名までとする。チーム監督及びコーチ、さらにセーフティアシスタントのみとする。

(9) ドーピング検査

プレマッチミーティングでドーピング検査の指示を受けた選手は、試合終了後、速やかに検査員の指示に従うこと。

(10)退場を命じられたプレーヤー

当該試合終了後、直ちに状況確認が行われ、最低でも次の 1 試合に出場できないことが確定する。その後、九州協会（規律委員会）にて審議し、処置を決定する。

(11)罰則

①同一試合で、同一プレーヤーが 2 回目の一時的退出を宣告された場合、当該プレーヤーは、宣告された時点で退場処分となる。（同一選手が、同じ試合でイエローカードを 2 回提示されると、その場で退場となる。）

②同一シーズン中に、一時的退出（イエローカード）の 3 回目の宣告をされた場合、当該プレーヤーは 3 回目の宣告を受けた試合終了後、直ちに状況確認が行われ、最低でも次の 1 試合に出場できないことが確定し、九州協会（規律委員会）にて裁定される。

※「同一シーズン」には、各チームが所属するリーグ戦の他、ジュニア大会も含む。

③参加資格を偽った者、参加資格のない者が出場した場合は、そのチームは大会から除名、次回大会の出場をも認めない。なおその場合、事実発見時のときの相手チームを勝者とするが、それ以前のものについては触れない。

④その他スポーツマンシップに反する行為があった場合は前項に準ずる。

⑤参加チームは、当該大学・関連企業に所属する応援者の行為についても責任を負うこと。

【特記】イエローカード・レッドカード適用時の外国籍選手の起用

「退場」「一時的退出（シンビン）」適用時の外国籍選手の試合に出場できる人数について、日本ラグビーフットボール協会主催大会では、「試合に出場できる人数」とは競技規則第 3 条 1 項に定める「競技区域にいる、プレーヤーの人数が 15 名を超えてはならない」を指す、との解釈の下、下記の通り定める。

①「退場」

退場となったプレーヤーを除く、残ったプレーヤーの人数の内、外国籍選手は 3 名まで。

（例：外国籍選手が退場になり、プレーヤーの人数が 14 名となった場合、その内 1 名を外国籍選手と入れ替えて外国籍選手の出場人数を 3 名とすることは可能）

②「一時的退出（シンビン）」

外国籍選手が一時的退出となった場合、一時的退出の時間中も、その外国籍選手は 15 名の

中に含まれるとみなす。実際にプレーしている人数が 14 名でも、外国籍選手は 3 名と数え、14 名の中で更に外国籍選手を 1 名加えることは認められない。

(注：“外国籍選手がシンビンとなったので、残りの 14 名中の日本選手 1 名を外国籍選手に入れ替えて 14 名中 3 名とし、一時的退出になった外国籍選手は以降出場させない。一時的退出が解消となったら日本人選手と入れ替える“ということは認められない。）

(12)広告の掲出

日本協会規定に準ずる。

①選手の服装に関する規定（改正後）

https://rugby-japan.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/file/html/172184_65cde955d2fc8.pdf

②商業広告への出演等に関する規定（改正後）

https://rugby-japan.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/file/html/172183_65cde885d4576.pdf

③「大学生以上のチーム」を対象とする商業活動に関する運用ガイドライン

https://rugby-japan.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/file/html/172190_65cf55d73f277.pdf

(13)応援について

①試合中、笛や太鼓等鳴物の使用は競技に支障を来すので厳禁する。

②過度な応援は慎む。

③すべての応援については一切チームが責任を持つ。

④チームの応援用横幕は、縦 1 m以内、横 5 m以内の範囲で、協会とスポンサー契約をしていない企業名、マークは載せられない。事前に九州協会に届け承認をもらう（1チーム 2 枚以内）。

(14)その他

①アシスタントレフリー、セーフティアシスタント、ボールボーイ、ウォーターボーイを学生が担当する場合は、服装を統一し、行動は機敏に行うよう各チームで指導する。また、ゲーム中にプレーヤーに指示を出すことや、レフリーや相手チームに対して中傷を行わない。

②チームゾーン及びテクニカルゾーンを採用する。

③更衣室・選手控室の管理は使用チームが行う。試合終了後、更衣と清掃を速やかに行い、次の試合チームへ明け渡す。

④選手は試合終了後裸体で更衣室・選手控室外に出ない。

13.競技場の整備、競技の運営

(1) 当番校は次のことに責任を持つ。

①競技場の使用確認、協会派遣理事、レフリー、ドクターへの連絡確認を 1 週間前までに行う。

変更がある場合は、各県協会大学委員長に連絡し対処する。

②競技場及びグランドの準備・設営

○競技場を使用する場合：本部、レフリー控室、更衣室、協会旗掲揚、得点板、両チームベンチ、机、椅子、担架、トラック横断用シート設置、チケット販売場

○競技場以外で行う場合：テント、本部、レフリー控室、更衣室、協会旗掲揚、得点板、両

チームベンチ、机、椅子、担架

○グランド：危険物の撤収・蔽い、ライン、コーナーフラッグ

※重要：試合開始 90 分前までに競技場及びグランドの準備を終える。ただし、会場の時間制限等などに配慮し、対応する。

③チケット・プログラム販売（有料試合のみ）

④関係者・観客の誘導

⑤試合終了後の片づけ、清掃

⑥単一ゲームの場合は、協会へ公式記録の送付、報道機関への連絡を行う。

(2)当番チームは次のことに責任を持つ。

①競技運営を支障なく行うための計画、準備、実施、撤収。

1) 試合ボール、協会旗、タッチフラッグの準備。

2) 協会から派遣がない場合の第3アシスタントレフリー。

3) 協会関係者案内

4) その他（アフターマッチファンクションの準備など）

②協会へ公式記録の送付

(3)その他競技運営上に生じた問題・支障に関して協議すること。

14.個人情報及び肖像権について

大会参加に際し、ご提出頂いた関係書類に記載の個人情報、及び大会期間中の写真・動画を下記の目的のために使用致します。また、情報の管理につきましては遺漏のないように努めます。なお、必要に応じて報道関係、関係雑誌等に情報や写真・動画を提供することがあります。

（使用目的）

（1）参加資格の確認

（2）大会プログラムへの掲載

（3）九州ラグビーフットボール協会及び九州各県協会公式HP・公式SNSへの掲載

（4）九州ラグビーフットボール協会 YouTube チャンネルでの動画配信

（5）その他関係資料への掲載

本大会に参加申し込みされたことにより、個人情報・肖像権の取扱いについては、上記記載事項に関して承諾を得たものとします。

15.その他

本規約に定めない事項については、九州協会大学委員会及び加盟代表者会議の決議により、これを決定する。

<付則>

1.九州協会大学委員会申し合わせ事項

同一大学系列、同一キャンパス内にある短期大学生で、上記8の(2)のチームで部員として練習その他の活動を共にしている正規の学生は、九州協会大学委員会の申し合わせ事項として九州学生ラグビーリーグ戦に限り参加資格を認める。しかし、全国大会への出場参加

資格は与えられない。

2.本規約は令和7年9月1日から実施する

※本規約の改訂は、改訂案を九州協会大学委員会で検討し、九州協会理事会で審議了承された後、施行される。